



## 2016.06.18 イニシアチブ Nippon プロジェクト 地域意見交換会 in 浜松

未来を創る財団が主催するイニシアチブ **Nippon** プロジェクトの第2回地域意見交換会が6月18日（土）午後、浜松市共催のもと、クリエート浜松（浜松市中区）多文化共生センターセミナールームで開催された。



自治体、大学、教育関係者、企業、地域住民他 NPO など浜松市内外から 21 名、オブザーバー、主催共催側あわせて総勢 40 名あまり。熱心な討議が行われた。

冒頭、未来を創る財団國松会長から挨拶「地域における意見交換会を行い、これを集約する形で東京ラウンドを 11 月に開く。その一環としてこの度浜松にお邪魔した。浜松では鈴木市長のリーダーシップの下、全国でも先駆的な施策に取り組んでいると聞いている。私も浜松出身。郷里でそのような進んだ取組がされていることを誇らしく感じている。」

続いて浜松市鈴木市長が「外国人約 2 万 1 千人、ブラジル国籍の方が 8,000 人。最近の特長としてはフィリピンなどアジアの方も増えており、多国籍化が進んでいる。



浜松市の提唱により集住都市会議が開かれるようになり、国への提言を進めてきた。長年に渡り、外国人庁あるいは移民庁の設置を訴えてきている。國松氏の発言にあった通り、今後移民を受け入れざるを得ない状況であり、国はそのための制度整備を進めていくべきである。浜松市も新たなステージに入っており、これまでは子どもたちの教育など、課題を解決していくことが主な議題だったが、昨年の集住都市会議にあった通り、いかに彼らの多様性をまちづくりに活かしていくかが肝要である。ぜひ今日の意見交換会で有益な意見を出していただきたい」と談話。

休日を使いご出席くださったご参加の皆さまの真摯なご協力に感謝申し上げます。

また、協賛いただいた浜松市の企画調査部国際課皆さまのご尽力に深謝申し上げます。

